

第5期薩摩川内市女性50人委員会提言を行うにあたって

平成17年4月1日に本委員会が設置され、今期（第5期）で10年となります。この間、延べ179人が委員として活動して参りました。生活者の視点で練り上げた様々な提言は、活力ある魅力的な薩摩川内市になってほしいという委員の思いが込められたものでした。提言の多くが何らかの形で市の施策に反映されましたことを感謝いたします。

第1期から4期までは、市政に対する提言を行う＝サービスを受ける側の視点に立つものでした。第5期は新たなチャレンジとして、「多様な生き方をしていく市民一人ひとりの人権を尊重するために、行政サービスにだけ頼るのではなく、私たち自身で何ができるか」を模索し、私たちはサービスを受ける側であり、サービスを提供する側でもあるとの視点に立ち、地域の一人ひとりの多様な問題に寄り添った問題解決のための地域づくり事業構想の策定に取り組みました。

50人が9班に分かれ、現状把握⇒重点課題の抽出⇒中間報告会⇒解決策の設定と、各班が自主学習会を交えながら、男女共同参画の視点からの地域づくり事業構想を立て、その実現に向けた経営計画をつくることを目標に2年に亘り取り組んできました。地域課題を「誰」が「どのような価値意識」で「どのように認知するか」という課題認知「問い」を立てる作業は大変な困難を伴いましたが、その過程では多くの気づき、学びがあり今後の活動のためのスキルを身に付けることに繋がりました。

今般、事業構想を取りまとめましたので、活動の報告と男女共同参画の視点に立った地域づくり事業構想9事業を提出いたします。

このような機会を設けていただいたことを感謝しつつ、今後も薩摩川内市の更なる発展のために、当委員会が役に立てるよう願っております。

平成26年10月

薩摩川内市女性50人委員会
会 長 内野 久子